



呼吸する家

大沼さん「内覧会を明日に控えて、こうしてゆっくり家の中を見ると、家がようやく呼吸しはじめてきたなあって思うよ。カーテンや家具など必要なものが納まつて、いよいよ家として生かすはじめるようなね。」

大 作「んだなあ。大沼さん良いこと言うね。どの家でも毎度、引き渡しの時は感動するよ。こんなに良い家ができて、これには、いい施主さんと出会い、一緒に一生懸命に作り上げていく過程なくしてはできないからね。一緒につのがキーポイントだ。お互いの本音をぶつけて可能性を引き出して、いよいよからこそ、そこに感動が生まれ、いいものが生まれるんだよな。そういうえば大沼さんとの出会いも面白かったな。」

大沼さん「そうそう。私の実家が新潟だね、里帰りした時に夢ハウスの本社へ見に行ったのが最初のきっかけ。私も木が好きでね、夢ハウスの天然木で作る家が気に入って、調べたら秋田でも大建さんがあることを知って驚いたよ。」



総築面積118坪。大潟村の大自然によく合う純和風の家

大 作「嬉しがつたねえ。大沼さんの想いもとても伝わって、この人の家を建てたいなあって思ったんだ。」

大沼さん「大建さんにお願いで正解だったね。大工さんも、社長が自分の家を建てるつもりでやれ！って言っている言葉の通り、とても丁寧な仕事をされていて嬉しかった。社長もとても勉強されていて、私達が悩んでいるといつもの確かなアドバイスをくれて心強かった。」

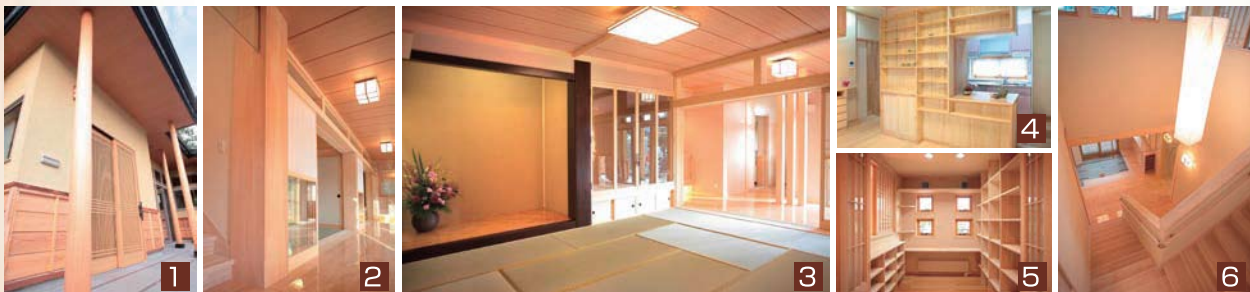
大 作「なんも、なんも。それにしてもこうしてあらためて見ると圧巻だな。適材適所で使った天然木がいい雰囲気を出している。またこれからは楽しみだな。」

大沼さん「そう、これからは楽しみなんだよ。私たちが歳をとっていくように、木も風合いを増していくでしょう。一緒に歳を重ねていく、そこがいいよね。木に包まれていると余計なことは考えなくていい。とても落ち着くし、もう言うことないよ。ほら、床に座ってみて。一回座っちゃうといつまでもそうしたい気持ちになっちゃうよ。」

大建の純度

リビングの桐の床にあぐらをかいて嬉しそうに語る大沼さんに、大建で建てる施主様に共通する幸せそうな笑顔を見た。ところで内覧会を訪れるといつも感じることもある。大建の建てる家には俗にいう新築らしい匂いがしない。感じるのにはヒバや松、杉といった木の清々しい香りのみ。もう読者の方にはその理由がお解りだろう。それこそが大建が誇る家の純度なのだ。あなたも家の呼吸を感じてみませんか？

(10月16日 取材)



- 1 京都の北山杉の柱。
- 2 1尺2寸にもなる無節のヒノキの大黒柱。
- 3 床の間には風格ある9寸の月桂樹の床柱。
- 4 リビングとキッチンを仕切る総桐のオリジナル収納スペース。
- 5 壁全面の本棚やPCスペースもある家族共有の書斎。
- 6 大建自慢の桐の階段。和の趣きが抜群。